

## 2022年度事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 古賀市文化協会

### 1 事業の成果

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、計画していた事業は予定どおり開催できた。

特に「古賀市童謡まつり」を4年ぶりに開催し、幼稚園・保育所4園と一般20団体の計24団体が出演し、独唱コンクールでは6名の子どもたちが熱唱するなど、久しぶりに大ステージで歌や踊りなどで会場を盛り上げていただきました。また、ステージの背景画を古賀競成館高校美術部の皆さんに作成していただき、会場を華やかにしていただいた。

また、夏休み子ども体験教室では、会員の協力のもと23種類43教室を開催し、344人（応募総数705人）の子どもたちに様々な文化体験をしていただくことができた。

一般市民の方の文化体験・入門講座として「文化協会文化教室事業」を加盟団体の自主事業として立ち上げ、4教室が開催された。

このようななか、中学校の部活動の地域移行の検討会が開催され、本会からも2名の常任理事が参加し、これからの部活動の在り方を含め検討がなされ、本会加盟団体に対してもアンケート調査がなされるなど、次世代への文化の継承が大きな課題となっている。

毎年開催している会員交流会で教育委員会学校教育課長に講師となっただき、検討会の検討内容説明や国・県の動向などの講演をいただいた、また福津市から講師を招聘し、これからの次世代への文化の継承を含め、今後の文化活動の在り方等をワールドカフェ方式での会員の意見交換を実施した。

このため、予定していた「体験プログラムハジメちゃん」事業については、次世代への文化の継承に向け、更に内容を検討するため、本年度の開催を見送った。

一方、地域との連携あつては、古賀駅西口活性化事業である「クリスマスマーケット」にコンサートを加え、他団体と合同の実行委員会に加入し「クリスマスコンサート」開催に取り組んだが、当日は暴風雪警報が発令されたため、やむなくマーケットの開催のみであったが、本会会員の作品のバザーにも取り組んだ。

また、出前講座についても、7月以降は徐々に依頼が増え、10件以上の依頼がありました。

その外、スポーツ協会と合同で、加盟団体の紹介等の啓発紙を作成、古賀市内全戸（約26,000世帯）に配布し、市民の方にPR活動を行った。

引き続き、芸術・文化活動をどのように展開していくか、大きな課題に向き合いながら、文化・芸術活動を推進していきたい。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
芸術文 化事業	第 41 回「古賀市芸術 文化の祭典」	11 月 3 日～ 5 日	リーパース プラザ こが 交流館	124 名	古賀市民 3,307 名	4,063
	第 33 回「古賀市童謡 まつり」	2 月 26 日	大ホ ール	46 名	古賀市民 2,103 名	
	コンサート事業 サロンコンサート	5 月～3 月 (計 11 回)	交流館	28 団体 出演者 216 名	古賀市民 646 名	
	ギャラリー“かがやき” 芸術作品展示	4 月～3 月	交流館	7 団体	古賀市民 約 1,500 名	
地域啓 発事業	出前講座事業 (19 団体 : 33 回)	4 月～3 月	古賀市 内学校 公民館	19 団体		10
後継者 育成事 業	第 8 回夏休み子ども体 験教室	7 月 21 日 ～7 月 31 日	交流館	講 師・ スタッフ 50 名	幼児～ 中学生 344 人	178
文化団 体支援 事業	6 団体後援	6 月～12 月	公民館 大ホー ル他	10 名	会員 635 名 関係機関	71
	文化協会文化教室事業	4 月～3 月	交流館	4 教室	古賀市民	
出版広 報事業	文化だより発行年 1 回	5 月発行	広報委 員会		会員・関係者	987
	加盟団体紹介紙作成 (スポーツ協会合同)	5 月発行			全戸配布 26,000 戸	
	40 周年記念誌等発行	6 月発行	記念誌 委員会		会員・関係者	

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
広告受 注事 業	芸術文化の祭典 広告受注	7月7日 ～11月1 日	古賀市内 および近 郊	10名	